

リーダー所感 ～写真を見てどう思いますか？

リーダーシップコース チーム B1 リーダー

株式会社 ヒラツカ・リース 岩瀬 友行

主にイベント業界における備品のリースサービス
営業部 所属

(以下 所感)

今回の研修において、とても考えさせられた事が一つ。
我々、日本人特有だろうか
与えられた自由を持て余す という事が分かった。

まず、私たちの研修コースのスタイルがとても異質な物に思えた。
例えば、与えられた課題を発表する際、
形式 ・ 方法 ・ 順番 これらが何も無い。
考える場所も自由、あるのは制限時間位であった。

日本の社会生活において、重要視される事、それは 秩序 だと思う。
大きくは法律というルールに私生活は守られ、
その円の中に会社のルール・家族のルール、諸々が存在し、
私達はそのルールという道を、逸脱する事なく進むこと、
そして、その進む道にはちゃんと他の誰かがいて、
誰かが同じ道を歩んでいる事に正当性を見出し、安堵する。
日本ではそれを秩序という言葉で表現をする。
多数派である事が重要視されるのである。

故に、一定の何かに縛られ過ごす生活に慣れ、むしろ
それが無い事に不自由を感じてしまうのである。

前述に戻るが、今回の研修は正にそれであり、
私たちは当初、この研修スタイルに違和感 どころか
”何も決められていない 不完全な研修だ ” と
不満すら覚えていたと思う。

皆がこのような大きな不安を抱えた状況の中で、
私はチームリーダーを 務める事になった。

私はこの旅の始まりに、どんな些細な事でも良い、
自分の中の何かを変えてみたい と思っていた。

この大きな不安の渦に飛び込めば、何か変わるかもしれない。
リーダーになる事で、少し自分を追い込もうとしていた。
そんな心情の中で、研修はスタートしていった。

講師である セツ・マカリストー さん。
彼の言葉で 今も印象に残っている 言葉がある。
『僕は皆が発表した物に、意見はしない。全部が正解だからだ。』
私は これを 個のアイデンティティーを 尊重する というように解釈をした。
足並みを揃えて歩いてきた我々には、言葉尻を捉える事はできても
真に理解をする事はとても難しい言葉だなと思った。

だが、この言葉とリーダーという事を繋げられないか私はそう考えるようになった。
自分がそうであるように、皆この場で自分を出すことに怯えてはいないか。
良く思われればそれで良い、悪く思われたくないと思病になってはいないか。

そう考えた時、私の役目は
皆がこの旅を自分らしく楽しんで終えられる事
と導き出した。

そのために、チーム内で個々の発表の準備をしている時
まず一番に自分の成果物を皆に聞いてもらった。
皆が、不安に感じているだろう事があれば、
まず最初に口に出した。
夜、チームで食事をする時、食べたい物を真っ先に言った。
集合場所には、メンバーの誰より先に着いておいて
皆を迎えた。

物事において、最初の一步はとても躊躇するもので
誰かの後が続く方が精神的に負担が少ないものだと思う。
私の姿を見て、意見を出しやすくなったり 弱音を吐きやすくなったり
自分の希望を言いやすくなったり 間違った場所にいないと安心したり

私は、この積み重ねで皆に個を少しずつ出していったほしいと思った。

個を出せれば、心にまとった警戒心も取れて普段の皆に近づいて
楽しい事・不満な事・悲しい事、それらが純粋に出せるようになるのでは
ないかと思ったからだ。

この行動で皆に何をもたらしたかは分からない。
勿論、皆に 自分のリーダーぶりはどうだったかなんて
聞く事もない。

添付する写真は私たちのチームで
旅の最終日に記念に取った写真である。

皆にとって、この9日間がどのような物だったか、
見ず知らずの5人が集まって最後どんなチームになったのか、

この写真を見た方にどう感じたかを聞いてみたい。



カルフォルニアでのたった9日間の研修で感じたこと

(株)東京ドーム 江辺大基

【自己紹介】

江辺大基（26）

株式会社東京ドーム 飲食&物販部

入社当初は、東京ドームシティ「宇宙ミュージアム TeNQ」の運営に携わり、現在は東京ドーム場内のテナント売店の管理運営やリニューアル計画、プロ野球球団や各種コンサート興行などとのタイアップ商品の企画を担当している。

【所感】

カルフォルニアでの9日間の研修は刺激的だった。カーニバルインスピレーション号での2泊3日の洋上研修は、業務に追われる日々の中で忘れがちになってしまっている「自分は何者か」という根源的なことを振り返るきっかけを得ることができ、その後のサンフランシスコでのチーム研修では、職種や年齢の大きく異なる人たちと意見合意をする難しさを、身を持って体感することができた。

私がチームリーダー（正）を務めるにあたり、意識したことは「なるべくメンバー個々の意見や進め方を尊重する」ということである。私はチームでは最年少で、他のメンバー5名中、4名が40代の言わば「大先輩」であった。私の何倍も長く社会人として業務を行ってきていて、それぞれの会社や、プライベートでの生活のバックグラウンドはまったく異なっている。そういったメンバーとチームを作ってゆく上で、リーダーからの一辺倒のトップダウンの指示は、まったく機能しないだろうと考えた。チーム行動をする際、彼らの考えていること、行動したいことを引き出し、自分はいくまでも事務局からの伝達事項の共有や他チームとの情報交換を行う「調整役」を担うことを心掛けた。

「相手を変えることは難しい。自分がどういう人間なのかを分かったうえで、相手との接し方を変えてコミュニケーションを円滑にすることは出来る」ということが、本研修の講義の一部で学んだことだった。その「調整役」を担うことで、研修の冒頭はお互い探り探りだったメンバーが、洋上研修を経て、サンフランシスコでのフィールドワークを行った際には、自分の意見を主張し、それでいて他者の意見にも耳を傾けることを自発的にできるように変化していったと感ずることができた。

反省点としては、日々の研修の振り返りを都度できなかったことにある。疲れやスケジュールに追われてしまって、振り返りを行わずに一日を終えてしまう日が続いてしまった。その日に学んだこと、気付いたことはその日のうちに振り返ることで、メンバーの経験値の吸収をもっと高めることができたのではないかと反省している。

しかし、研修コース全体で見れば、**B2 チーム**はコミュニケーションの充実しており、チーム内の雰囲気も良く、実りある研修だったのではないかと感じる。

最後にサンフランシスコの「ゴールデン・ゲート・ブリッジ」で撮影したチーム写真を添えたいと思う。この写真からチームの雰囲気が十分に伝わる如果能够できれば幸いである。

以上



洋上研修 リーダー所感

チーム：B2 チーム（副リーダー）

企業名：飯田電機工業 株式会社

氏名：榎本奈央

弊社について

私の働いております飯田電機工業株式会社は昭和 32 年の会社設立以来 58 年間、展示会、博覧会、各種公演などのイベントの電気設備工事の他に、住居や店舗・事務所や公共工事等の一般電気設備工事を行っております。貴重なエネルギーである”電気”を媒体とし、皆様の生活やプランを支える一端を担う者として誠心誠意、企業努力を続けてまいります。

その中でも私は現在、経理として、社員の方の経費や、売上を整理しまとめています。地道な作業と集中力が必要ではありますが、この作業が会社の業績として残るものの一つだと思うとやりがいや社員としての意識をととても感じます。

リーダー所感

•意識した PDCA

B2 チームの副リーダーとして、皆さんのサポートが出来ればと心掛けていました。ざっくりとしたそれぞれのやりたいことや、計画をもとにいかに行きに移せるのかを意識して、何か問題があれば皆の意見を出してもらい、結果的にチームとしては全員の納得いく結果になったのではないかと感じています。結果がきちんと伴っていたので、チームのモチベーションが最後まで保たれていたように思いました。

•リーダーシップの発揮

B2 のチームリーダーを務めてもらった江辺さんが、チーム内最年少だったにも関わらず、発言力や、チーム内の意見の的確なまとめ、率先力すべてにおいてリーダーシップを発揮していて、見習う点が多いなと感じていました。9 日間の研修でここまでチーム内がまとまったのも彼がリーダーをしてくれたからではないかと思うくらい、本当に頼りになりました。

そんな中でも、私はどちらかというと、意見を聞く方へ、全体から一歩引いた所からチームを見てどうすれば上手く研修が進むか、私なりに考え対処出来るようにチーム内で活動していました。リーダーシップとはまた別かもしれませんが、チームを支えられればという意識を持って活動していました。

•メンバーの印象や変化

B2 として、いうより研修自体やはり不安でした。ですが、チームリーダーとして引っ張ってくれた、とても頼りになる江辺さんをはじめ、パーティー委員として司会を務め場を盛り上げてくださった塚本さん、同じくパーティー委員の副リーダーとして場をまとめ、チーム内では的確な意見を下さった井上さん、グローバル委員として、積極的に行動して着実に研修内容をこなしてくれた藤田さん、様々な場で記録を取って写真もたくさん撮ってくれた福岡さん、皆さんの活躍があつてこそ、楽しく研修が出来たのだと思います。9 日間、チームメンバーとして一緒に活動させて頂き、それぞれが自身のやるべきことを果たしていました。最初は、お互いに分からないことだらけでしたが、自然と協力するようになり、それぞれの役割を持って積極的に行動するように良い方向へ雰囲気が変わっていったのを実感することが出来ました。

終始笑顔が絶えないチームと活動が出来て良い体験が出来ました。ありがとうございました。

•心掛け・苦労・良かったこと

上記でも書いた通り、いかにチーム内が円滑に活動出来るか、自分なりに分析をして意見を交換することを心掛けていました。良い意味で自由な方が多かったチームですが、最終的にはきちんとまとまって行動出来ました。異国の地での研修は、苦労の方が容易に想像出来ますが、チーム全体が楽しめて活動出来たのも、このメンバーだったからなのではないかと思います。言葉の壁も苦労しましたが、こんな拙い英語でも伝えようとすれば相手にそれなりに伝わったことが何よりも嬉しかったです。

自分から行動を起こすことが何よりも大切だという事を改めて実感したと共に、私の頑張らなきゃと感じる毎日でした。何が出来るのだろうか、何かチームに貢献しなくてはという思いが強く、船内講習や他の場面でも周りを見て行動するように努めたりと、苦労したなと思う分、得るものも多かったと感じています。

•最後に

研修に参加出来たこともそうですが、B2のチームメンバーとして研修をしてこれたことが私にとって、とても大きな経験だったと思います。異国の文化に触れることもなかなか出来ない体験だったので、全てが真新しく見えました。

リーダーシップがどういったものか、今回の研修の経験を活かせるのか、それはそれぞれかと思いますが、少しでも職場や生活で発揮出来たらと思います

洋上研修 リーダーシップコース所感

チーム：リーダーシップコース（副リーダー）

企業名：飯田電機工業 株式会社

氏名：榎本奈央

弊社について

私の働いております飯田電機工業株式会社は昭和 32 年の会社設立以来 58 年間、展示会、博覧会、各種公演などのイベントの電気設備工事の他に、住居や店舗・事務所や公共工事等の一般電気設備工事を行っております。貴重なエネルギーである”電気”を媒体とし、皆様の生活やプランを支える一端を担う者として誠心誠意、企業努力を続けてまいります。

その中でも私は現在、経理として、社員の方の経費や、売上を整理しまとめています。地道な作業と集中力が必要ではありますが、この作業が会社の業績として残るものの一つだと思うとやりがいや社員としての意識をととても感じます。

（※チームの方と同じです）

リーダー所感

•意識した PDCA

チームでも副リーダーを務めましたが、リーダーシップコースのリーダー委員でも副リーダーを務めました。リーダー委員のリーダーを務めていた阿部さんがとても気配りの出来る方で、ここでも私のやることがないんじゃないかというくらい、本当にしっかりと全体を見ていて、安心して研修が出来たのも阿部さんのおかげだったと思っています。感謝してもしきれません。

そんな中、私が出来たのは、チームでも同じ、話を聞くことでした。行動に移す前に、話を聞く、意見を伺う、いかにして情報を共有するか、少しでも負担が軽く出来ないかを意識しました。それぞれのチームが計画を立てる為に何が疑問になっているのかをいち早く阿部さんが気が付いてくれたおかげで研修を円滑に進められました。そういった気付き、気配りを私も今後意識していきたいと感じました。

•メンバーの印象や変化

リーダーシップコース全体で見ると、硬かった表情が柔らかくなっていくのが日に日に目に見えたのがすごかったと思いました。私自身も緊張や不安で、この研修を最後までやれるのか分からなく、委員の副リーダーとして皆さんの前で挨拶をした時に表情も硬かったかと思いますが、前に立ったからこそ、皆さんの表情が見えた時に私と同じなんだなと感じた瞬間、少し安心しました。

少しずつそれぞれの役割や目的が見つかってそれに向かって行動し始めているのも変化として見られました。9日間でここまで変化が見えたのは純粋にすごいなと思いましたし、私も負けじと頑張っていこうと研修に臨むことが出来ました。

最後の挨拶の時に見えた皆さんの表情が、最初の時に見た表情と大きく違っていたのは今でも覚えています。長いようで短い期間でしたが、ここまで結束出来たことは、一つの成果だと言えるのではないのでしょうか。

•心掛け・苦労・良かったこと

全員がそれぞれ苦労して得た成果が必ずあると思います。私はなるべくこうしよう、ああしよう、という事は多々ありましたが、たまに自分の役割や職場の事を忘れて研修を受けていたなど、振り返るとそういったことがありました。そのことを後悔しているのではなく、経験として色々忘れて研修に参加出来たことは、自分にとっては良かったです。私はこうだから、この役割を持っているからと臨むと、どうしても周りに壁を作ってしまうと、馴染めなかったと思うのです。良いメンバーと講師の方と、研修の雰囲気もそういった日常を忘れることが出来ました。

•最後に

同じことの繰り返しかと思いますが、この研修を通してメンバーに会えた事に感謝します。この縁は今後も繋いでいけたらと思っています。

言葉の壁や文化の違いで戸惑うことが多かったですが、それも皆さんと一緒に、チームメンバーと共に超えて行けました。副リーダーとしては全然でしたが、たくさんの助けや協力があったからこそ、消極的な考えが多い自分でも、少しは成長出来たのかなと思えるようになりました。これも自分自身の成長として評価し、今後の生活や職場に活かしていけたらと思います。

この研修に参加出来ましたこと、そして出会えた皆様、本当にありがとうございました。今後とも何卒宜しくお願い致します。

J-EXCEED第1期 リーダー所感
リーダーシップコース 研修代表
船内・現地 B 3 チーム

株式会社 **Ysk e-com**

阿部 誠

自己紹介

株式会社YSK e-com の阿部誠です。1978年5月2日生まれ、今年で40歳になりました。
生まれも育ちも山梨県です。
家族は妻と娘が2人います。3歳と0歳3か月です。

弊社は山梨県の雇用の場と情報化への貢献のために1986年に設立されました。
2003年には社名を「YSK e-com」と改め、山梨県内に3拠点、東京と福岡に支店があります。
社員は231名が在籍しています。（H30.4現在）最近、社歌も作りました。 ★

私は公共システム事業本部に所属しています。主に市町村の基幹系システム（※）の導入、保守を行っています。入社当初は国民健康保険システムを担当していましたが、ここ数年は各業務の取り纏め、お客様（主に情報担当様）との窓口担当を担当しています。
実は弊社CMに出てたりもします。 ★

※基幹系システム ： 身近なところでいうと転入、転出、出生、死亡などの人の動きの管理、住民税、固定資産税といった各種税金の計算や介護、児童手当、子ども手当等の福祉系サービスなど市町村の基幹系業務を運用するためのシステム

コース全体振り返り



リーダー委員会の目的はなんだった？

リーダー委員長の役割はなんだった？

リーダー委員会の目的

（研修資料からの抜粋）

- 1．リーダー委員会は、船内研修全体やチームのまとめ役とし、チームに対して各種情報を伝達する。
- 2．チーム内の風土（規律、ルール、雰囲気）を形成する。
- 3．研修がより充実するための創意工夫（企画、実施）を必ず行う。

リーダー委員長の役割

(研修資料からの抜粋)

- 研修生代表としての挨拶
- 各チームの体調確認や気配り、配慮
- 研修コース全体の風土と良い雰囲気形成
- 研修コースの研修をより充実するためにどうすればいいか考え、各チームに合意形成を行い、実施
- 各チームのリーダーが実施している成功事例、失敗事例の共有と垂範
- パーティ・グローバル委員長と率先して情報交換をする。(フォロー、サポート、連携などの模索)
- 研修コース内の点呼結果の集約・事務局への報告
 - ・午前、午後の研修コース開始時に講師へ報告
 - ・リーダー委員への連絡および情報伝達

役割を達成できたか？

リーダー委員長の役割（振り返り①）

（研修資料からの抜粋）

●研修生代表としての挨拶

→ 思ったことを発言してしまう癖があり、事務局の方には幾度となく失礼な物言いをしてしまいました。
言ってから悶々とするというのが日常でも頻繁に発生していて、こんなところでもやってしまったかという思いです。
失礼しました。

●各チームの体調確認や気配り、配慮

→ チーム単位というよりはメンバー全体を見て、体調悪そうな方、タイミングが合う方には声をかけたりしました。
船内、現地ではったり会うような時も積極的に声掛けをするように心がけました。

●研修コース全体の風土と良い雰囲気形成

→ メンバー全員が良い方だったので、自然と良い雰囲気が形成されていたと感じてます。
特に問題もなかったはず。非常に助かりました。

リーダー委員長の役割（振り返り②）

（研修資料からの抜粋）

- 研修コースの研修をより充実するためにどうすればいいか考え、各チームに合意形成を行い、実施
- 各チームのリーダーが実施している成功事例、失敗事例の共有と垂範

→ 大きな反省点の1つ。委員長としての役割として認識していたが、研修全体通してできませんでした。各リーダーはチーム内の振り返りの調整もあったり、非日常空間を楽しみたい思いもあるだろうし、リーダー委員会の招集は最小限にしたいという思いもありました。

（傍から見てグローバル大変だなーとも思いつつ。）

結果、必須事項のみの調整と情報伝達のみにするに留まってしまいました。資料にあるようにまじめに取り組んで各リーダーの負担を大きくするのもどうなのかと考え、なにより自分がまとめるのもめんどくさいなという思いもありました。各リーダーに話をしてみてもうしようかを検討すればよかったと思います。研修の本来の目的とメンバーの方々が研修の最大効果を得るためには実施すべきだったか、個人的な考えで研修全体の効果が薄れてしまったかも考えると皆様に申し訳ないことをしたと思います。また、各チームにはリーダー委員が2人というのを終盤になるまで意識していませんでした。各リーダーの方のみと話をしてしまったのも反省です。

リーダー委員長の役割（振り返り③）

（研修資料からの抜粋）

- パーティ・グローバル委員長と率先して情報交換をする。（フォロー、サポート、連携などの模索）
 - パーティ、グローバル委員長ともに積極的にコンタクトを取ってくれたので非常に助かりました。
また、それぞれの委員会でそれぞれで動いてくれたので特にサポート等はしませんでした。サポートする意思は伝えていました。
- 研修コース内の点呼結果の集約・事務局への報告
 - ・午前、午後の研修コース開始時に講師へ報告
 - ・リーダー委員への連絡および情報伝達
 - リーダー委員の仕事はこれくらいだと思って引き受けたら甘かったです…
時に忘れて指摘受けましたが、最低限はできてたのではと思います。

『船の場をどう使い倒そうか、ワクワクするような一言を毎回の集合場所で一言お願いします』
と資料にあったのも見落としていて、乗船後2日目あたりからようやく実施できました。

リーダー委員長を担当して（所感①）

リーダーシップ研修ということでリーダー委員をするのだろうか。とはうすうす考えてはいました。資料のどこかに「自分の殻を破る」的なフレーズがあったのを見て、普段の自分が選択しない何かをしようと思い、結果としてリーダー委員長を担当することにしました。

研修の趣旨を理解するのに時間がかかったため、事務局から必要な情報が出てこないことに苛立ちもしました。趣旨が理解できてからは夜中まで研修資料を細かく確認したり、不明点は事務局に確認してメンバーやデザインシンキングコースとも共有したりと一定の役割はこなせた部分がありました。いつもの自分であれば研修中に一言も話をしないで終わった方も、名刺交換することなく別れていた方もいたと思います。

研修中にはいつもの「なあなあな」自分というのも垣間見えて、責任ある立場でありながら個人的な思いで動いてしまった点もありました。自分の行動が研修全体に関わるという意識が薄かったと反省しています。Sethとの話の中で「役職的なリーダーはいらない、だれもがリーダーシップを発揮できる」とありました。リーダー委員で集まる場でオープンに意見を出せる場も作り出せなかったなと反省です。

ただ、委員長を担当しなければいつもの「なあなあな」自分のままで研修を終えていただろうなと考えると、この役を担当したことは私自身大変有益でした。皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

リーダー委員長を担当して（所感②）

秋本さん：革靴→サンダル→NIKEの変遷が殻を破った印ですね。おしゅれは足元から。

岩瀬さん：委員長になったときに「フォローします。」の言葉がすごくうれしかったす。リーダーありがとでした。

小山内さん：具合悪いかと話しかけたら華さんが心配、と。後輩思いの優しい方。

忠平さん：グローバルレポートのマスクマン、どっちがメキシコ人かわからんくらい溶け込んでました。

珠美さん：Dタイプを具現化したわかりやすい人。私、D？って言ってたけどDだから。

井上さん：飲み会の場所を提供していただきありがとやす。でも寝坊で遅刻はいやずら。

奈央さん：副委員長でフォローしてもらってありがと。帰国直後のシーは若さっすね。

江部さん：a.k.aウエッツ。個性派揃いのB2をまとめた真のリーダー。たぶんいつか東京ドームの社長。

塚本さん：研修のムードメーカーだったのは間違いない。なんだかんだで熱い漢。

福岡さん：会社と同じくいろんなところで調整役こなしてもらってあざっす。

藤田さん：同じ部屋でよかったです。飲みにも誘ってくれてありがとやす。他の方を思う優しさ、行動力が半端ない。

君島さん：狂ったマンゴーに狂ったね。

田中さん：地元人より山梨県大月市に詳しい人も珍しい。

裕作さん：グローバル委員長おつかれ。

健人くん：体調不良で苦労した中での参加は不屈の精神を感じました。

睦さん：荷物少な！パーティ委員長おつかれした。

水沼さん：ロックないでたちでしたが、やさしい方でした。ただ眠つきはやっぱり怖いから。リーダーあざっす。

B3皆さま：後ろのページのほうで。

B3チーム振り返り(船内・現地)



リーダー委員の役割はなんだった？

リーダー委員の役割

（研修資料から抜粋）

- 毎日、「その日の振り返り」と「明日の行動計画」をチーム内でミーティングする場所と時間等の設定を主導
- チームメンバーへの連絡および情報伝達
- チームメンバーへの体調確認や気配り、配慮
- チームの風土と良い雰囲気を形成
- チームが研修を通して成長するためにどうすればいいか考え、企画し、実施
- チーム内のグローバル、パーティ委員のフォロー、サポートを率先して行う。
- 研修コースの日直
 - ・日直は研修開始・終了時の挨拶
- チーム内の点呼確認とリーダー委員長（副）への報告
 - ・現地研修活動の移動時
 - ・午前、午後の研修コース開始時
 - ・寄港地活動の帰着報告 など
- チームメンバーへの体調への気配り
- リーダー委員長の支援

役割を達成できたか？

リーダー委員の役割（振り返り①）

（研修資料から抜粋）

- 毎日、「その日の振り返り」と「明日の行動計画」をチーム内でミーティングする場所と時間等の設定を主導
→ スケジュール的に毎晩設定することはできなかったが、翌日の研修前に集まることはできました。
メンバーの方も時間通りに集まっていたき、非常にありがたかったです。
- チームメンバーへの連絡および情報伝達
→ できていたと思います。
- チームメンバーへの体調確認や気配り、配慮
→ コース全体への目を向ける意識が強くて、逆にチームに対する配慮が少なかったと感じています。
メンバーの方には申し訳なかったと反省しています。
- チームの風土と良い雰囲気を形成
→ 適当なくそリーダー、しっかり者のメンバーでバランスが取れていたと思います。
- チームが研修を通して成長するためにどうすればいいか考え、企画し、実施
→ ごめんなさい。何も企画、実施することができませんでした。

リーダー委員の役割（振り返り②）

（研修資料から抜粋）

- チーム内のグローバル、パーティ委員のフォロー、サポートを率先して行う。
→ 頼り切ってしまいました。特にこちらからフォローまでもなく完全に乗っかっていればいいだけで対応していただけて非常に助かりました。ありがとうございました。
- 研修コースの日直
 - ・日直は研修開始・終了時の挨拶
 - リーダ委員で担当分けして実施することができました。
- チーム内の点呼確認とリーダー委員長（副）への報告
 - ・現地研修活動の移動時
 - ・午前、午後の研修コース開始時
 - ・寄港地活動の帰着報告 など
 - とよさんにお任せしちゃいました。てへ。
- チームメンバーへの体調への気配り
→ 華さんは途中離脱したけど、他の人は元気でした。元気と少しのお金があればなんとかなります。
- リーダー委員長の支援
→ 委員長がくそ過ぎて苦労しました。あ、俺か。

リーダー委員を担当して（所感①）

●船内

華さんが一時離脱して、復帰した際にSethが「マニフェストを作るのを誰かフォローしてやってくれ」と言ったときにぼけーとしてましたが、後から「あ、俺の仕事だ」と気づいてチームメンバーに声掛けして対応することができました。

あのイベントがあってチームの輪が太くなったと感じました。（華さんには申し訳ないけど…）

本来は言われた瞬間に自然と気づかねばならないはずで、自覚が足りなかったなと反省です。

また、メンバーが研修通じて成長できる何かを企画する立場にあったにもかかわらず、なにもできずに申し訳ありません。

●現地

私の適当さをチームの方が理解したからだと思いますが、リーダーらしいことは何一つしていなかったと思います。

ただただおんぶにだっこで申し訳ありませんでした。

●全体通して

コース全体のほうに視点がいってしまい、逆にチームメンバーに対する気配り、配慮が足りていなかったのが反省です。

そんな状況を察知していただけたからだと思いますが、メンバーの皆さんがそれぞれで行動していただき、

助けていただきました。非常に助かりました。ありがとうございました。

私がLineをやってなかったというのもあって、チーム内で情報を共有するのが難しかったと思います。

すいませんでした。

リーダー委員を担当して（所感②）

このチームメンバーで本当に良かったと感謝しています。ありがとうございました。

華さん：体調不良でメキシコ到達できずに残念でした。

ほっしーが言ってたけど華さんがいるとこないではチームの雰囲気は確かに違うなと思いました。

マニフェストに書いてたけど短期間にしてB3チームみんなの華でした。

ほっしー：英語しゃべれないといいながらも、一旦ハードルを越えたらだれよりもナチュラルに

コミュニケーションとってたB3随一の国際人。

メガネは壊れ、ジャケットも紛失する隠れたトラブルメーカー。1日2回水やりしてくれてた？

峰さん：チームの方向性がぶれたときに正しい道に戻してくれるB3最後の良識。

とってもまじめな人で助かりました。

帰国初日に徹夜することなかったというのも事前の根回しがあったからこそでしょ。

豊さん：静かにみんなの意見を聞いてくれるB3チームのバランスー。

いつ調べた？と思わせるリーバイス愛は脱帽でした。

一緒にサブ4目指しましょう。

リーダー所感

作成：豊 田 勝 敏

チーム名	B3チーム チームメンバー：阿部さん・武野さん・峰嶋さん 星野さん・豊田
所属会社	日本建設工業株式会社
氏 名	豊田勝敏
自己紹介	日本建設工業株式会社 原子力グループ所属 For the Future of Energy エネルギーの未来のために 【主要な仕事概要】 原子力グループは、電力の安定供給を目指し、全国各地の原子力発電所プラントの建設工事計画・施工。また、プラント運転開始後はその保守メンテナンス、定期点検時の改修工事をはじめ、必要に応じた大規模改造工事についても計画・施工を行っています。 【日課】 毎日の犬の散歩と筋トレとジョギングを日課としています。犬が起しに来るので、毎朝4時に起されて散歩に出かけてます。大変つらいです。いや楽しいです。散歩はボーっと出来るのでとても良いです。
リーダー所感	B3チームの副リーダーになりました。しかし、当チームのチームリーダー阿部さんは、コース代表リーダーにも推薦されている方でとても良くチームを纏めて下さいました。とても感謝しています。サブリーダーとしては、点呼を取り代表に報告してました。大した事が出来ず恐縮してます。 【良かったこと】 ・リーダーシップコースは自由度に特化したコースでした。その中で、船上での自己マニフェスト作成には苦労しました。そこで役立ったのがチームでした。チームの中でいろいろと意見交換が出来たので、作成が順調に進んで行きました。 【苦労したこと】 ・グローバル活動としてのコミュニケーションでした。言葉で伝えることが出来無い（片言）中でどういう風に声を掛けるのか、失礼では無いか、食事中とか怒られるのではないかと心配が先立ちました。中々行動に行けませんでした。結果的には、準備した質問をグローバル委員メンバーが話しかけてくださったのですが、相手の方も気さくに回答して頂きました。最後は、お互いのスマホで写真を取りとても良い関係が作れました。後、星野さんが準備していた折り紙で作った鶴や手裏剣を渡すととても喜んで下さいました。 【目標】 チーム目標は、今回の経験を忘れずに自分の仕事に生かして行くことです。その為、チームリーダー阿部さんがボールペンをチームメンバーに購入してくれました。大事に使用して、今回の経験を生かして行きたいと思います。

■□■ リーダー委員を務めて ■□■

企業名：A G S株式会社

名前：水沼 瑛介

チーム：B 4 チーム

メンバー：中村 健人(副)、君島 佑斗、田中 茂晴、内藤 裕作、星野 睦

1. 自己紹介

入社(2007 年)以来ずっと目黒勤務で、りそな銀行のシステム開発に携わっています。
業務は固定性預金の主に証券・投資信託のシステム開発を行っており、設計工程から開発作業・本番稼働までの工程を担当しています。
完全週休 2 日制(土・日、祝日)で、最近の休日は子供(男の子・そろそろ生後二か月)の成長を楽しんでいます。

2. 所感

① 意識した PDCA

良いチームを形成するため、チームとして集まる時間を多く設けることを意識しました。(Plan(計画),Do(実行))

1 日の振返りの場であったり、夕飯・研修時の考える時間など皆で集まって話す場や明日の計画をする場を設けることで、情報共有であったり、お互いのことをよく知ることができ、良いチームワーク創りのきっかけになったかと思います。

ただし、Action(改善)の部分はあまり意識できていなかったと思います。1 日の振返り活動の中で、Check(評価)の観点から、各委員会活動の振返りなども行った方が良いのではないか、など改善点はありましたが、実際に改善して実行までは至らなかったなので、その点は反省点かと思っています。

② リーダーシップの発揮

リーダーシップとしては、1 日の振返り・次の日の計画やフィールドワークの計画を提案し、その後チームメンバーみんなで計画等を練っていきました。その足掛かりとなる部分をつくったところでリーダーシップを発揮できたかと思います。

あとは、チームメンバー皆の力のおかげで、良いチーム活動が行えました。

③ メンバー印象と感謝

ケント・・・話上手でチームのムードメーカー（さすがIタイプ）。

夕飯・グローバル活動のときには率先して、現地の人や店員に話かけ、その積極性やチームの話を盛り上げてくれたりと、チームが明るく活動できたのはケントのおかげです、ありがとうございました。

きみじー・・・きみじーと言ったら、もう仮面ライダーですね。

自分の好きなことにどこまでも真っ直ぐに向き合っていくその情熱さは、見ていて羨ましく思います。そしてその情熱さは、皆に伝わり、チーム活動にも表れていて、色々調べてくれたりとチームの活動を良い(楽しい)方向へ導いてくれました、ありがとうございました。

茂さん・・・チームに一人は欠かせない、物事を冷静に判断して、チームの軸がブレないように修正してくれる存在。

我々B4チームの方針が間違った方向へ行かないように、チームの支えとなってくれたと思っています、一緒にチーム活動を盛り上げてくれて、ありがとうございました。

裕さん・・・チームの頼れる兄貴分。

裕作さんとは、出発時のバスで一緒になり、チームも一緒になりと話す機会も多かったと思います。DISC分析でDタイプだったと思いますが、Sタイプの私から見て「怖い」とか「話を聴いてくれない」とかの印象はなく、持ち前の気さくさで話かけ易く何でも相談に乗ってくれそうな存在感でした。グローバル委員長を務め、忙しいながらもチーム運営にご協力いただきありがとうございました。

睦さん・・・気配り上手で、リーダーの私よりもリーダー適任だったのでは感を持つ姉御肌。

チームで活動していく中で、周囲の状況をみて、メンバーが困った状況に陥った場面でメンバーをフォローしたり、代替案を考えて実行に移したりと本来リーダーの私がしっかりしないといけない場面で、助けてくれたりとチームの絆が深まったのは、睦さんのおかげだと思います、ありがとうございました。

④ 研修に参加して

9日間の研修経験は初めてで、長いと思っていましたが、皆とのグループ形成の過程をトークやグループ活動を通し目一杯楽しみながらチームワークを築いて行くことができたので、研修が終わってみれば9日間という期間が短くすら感じました。不安を持ちつつ出会った頃の表情とフィールドワークで楽しみながら積極的に活動していた表情、そして別れを惜しんだ最終日。そういった表情・心の変化こそが新しい価値を生み出していくのではと感じました。

最後に、今回の研修を通して、自分を含め皆の中で起こった「変化」が、今後大きな「進化」に繋がっていくことを期待しています。

貴重な体験をさせていただき感謝いたします。ありがとうございました。



リーダー所感

(株)福岡商店 中村健人

チーム：B4

はじめに

今回の研修において、私はチーム内では副リーダーの役割を担当致しました。社内では比較的年齢が若く、役職にも就いていない為、近年リーダーとしての経験はありませんが、チームの風土や雰囲気作りの役に立てればと立候補致しました。

自己紹介

私は今の職場に勤めて4年目になります。会社としては主に生コンクリートなどの建材を取り扱っており、私は営業を担当しております。お客様と特に接する機会が多い部署である為、今回の研修では普段接することのない業種の方々とはいじめて行動を共にすることで、人間関係の構築など様々なことを学びたいと臨みました。

所感

・心掛けたこと

役割決めの際、私は本来グローバル委員を希望しておりましたが、正リーダーが決まり他にもグローバル委員の希望者がおりましたので、リーダー委員に挑戦しようと思い、副リーダーに立候補しました。正リーダーが点呼、情報伝達など事務的な業務を完璧に行っておりましたので、私は特にチーム内で良い雰囲気や風土が形成されるよう、ムードメーカー的存在になり、グループ行動を楽しく有意義に行えるよう様々な提案をすることを心掛けました。また、グループ内では比較的海外への渡航経験があり、英会話が得意でしたので、現地研修の際に率先して行動するよう心掛けました。

・苦勞したこと

グループの副リーダーとして、特に苦勞したことはありません。グループ皆が自分の役割を認識し、それぞれがメンバーを思いやり行動しておりましたので、グループでの活動はとても円滑に行えたかと思います。反省点として船内、現地において私が体調を崩した事によりメンバーに心配、迷惑をかけてしまいました。役割を持つことには責任が伴い、特にリーダー委員はグループのまとめ役である為、特に体調管理は徹底しなければなりませんでした。今後、自分の責任をしっかりと把握し、それに沿った行動をとっていきたいと思います。

・良かったこと

副リーダーとしてグループの雰囲気形成にあたり、まずグループでファーストネームもしくはニックネームで呼び合うことを提案しました。これは今回の研修において、事務局からの提案もあり、全体で取り組んでいたかと思います。初期の段階ではグループ内でもなかなか浸透しませんでした。徐々に浸透していき、最終的には全員が名前、ニックネームで呼び合うようになりました。初対面の人々が集まったグループでしたが、とても良い雰囲気のグループになれたと思います。

- ・研修後のチーム目標

日常に戻り、職場や家庭ではそれぞれの役割を担っているかと思います。それぞれが自分の役割を認識し、他者を理解し自分を理解してもらうことで、様々なシチュエーションでリーダーシップを発揮していければと思います。